

# 2008 第1回東大本番レベル模試 優秀答案

## 第1問 (岐阜県S君の答案)

天武朝は大海人皇子が大友皇子を武力で倒したことで始まった ために、その正統性を後に伝えるという目的で日本書紀が作られた。また日本は中国の正史にならって日本書紀を作ろうと企図したため、新羅を媒介として唐の先進文物の招来を行い、唐からの渡来人に官職を与えたり留学僧への学問奨励を行うこと + で、中国語である漢字の編年体で書かれた正史がつくられた。

あわせて

R

2+3+2+2+2+2+R2=15点

### コメント

第1問は、「正史編纂の意義と編纂過程における特質」を問う問題だった。まず、あなたの答案が与えられた2つの論点に明快に応じようとするものだったかどうかを点検してみてほしい。なぜならそれは、東大が求めているもっとも前提的な学力と密接不可分の関係にあるからである。

優秀答案としてとりあげたのは、論理展開の点に少しごちないところがあるものの、問題の要求と正面から向き合ったことが一読してわかる例の1つ。問題から得られる情報の取捨選択(=与えられた文章の分析)も正確におこなわれている。東大本番レベル模試初回ということもあって、この水準に到達していた答案は多数派とはいえなかったが、ただし決して稀ではなかったことも付言しておきたい。